

忙しい医学生必見!!

本当にコストパフォーマンスのいい CBT 対策とは

医学生は忙しい!【4年生】CBT・OSCE→【5年生】臨床実習→【6年生】マッチング試験、卒試、国試…、

CBT 以降、大イベントが目白押しなんですね。だからこそ、CBT 対策は、国試をはじめとする CBT 後のイベントにもつながっていくように勉強していくことがお得です。

そのためには、どんな問題集を使用するのがよいでしょうか? 4 年生から 6 年最後の国試まで繰り返し問われ続ける一番重要な知識、つまり “疾患各論やその理解に必須の総論知識” を最も重視している問題集こそ、一番コストパフォーマンスのいい CBT 対策問題集だと私たちは考えます。

『クエスチョン・バンク CBT』(以下『QB CBT』)は、類書に比べ “かゆい所に手が届く解説” が売り。図表も『病みえ』等から多数転載。『病みえ』でみた図をもう一回『QB CBT』で確認できるため “繰り返し効果” で記憶に定着しやすくなります。

しかも、『QB CBT』の解説本文で、国試既出事項の情報が青字になっています。このため 5 年生になってすぐに始まる国試対策もやりやすくなります。

CBT 以降もずっと役立つ書籍連携
国試版『QB』も
『病みえ』『YN』に対応

国試過去問集シェア 90% の書籍といえば、『クエスチョン・バンク』(以下『QB』)! 『QB CBT』で慣れた形式で問題を解けますから、国試対策への移行がスムーズ。さらに CBT 対策で活躍した『病みえ』『イヤーノート』(以下『YN』)は『QB』とも対応しているため、長い目で見てもコスパが良いわけですね。この強力な連携でこれから先の様々なイベントを乗り切りましょう。詳しくは『QB CBT』2018 vol.2 付録『国試スタートアップガイド』をご参照ください!

CBT の出題範囲

コアカリキュラム項目	内 容	およその出題率
A 基本事項	“医師たる者”的基本、医療倫理など	4%
B 医学・医療と社会	保健医療・公衆衛生	8%
C 医学一般	いわゆる基礎・生理・生化・薬理など	20%
D 人体各器官の正常構造と機能・病態・診断・治療	各臓器疾患 神経や循環器から産婦、眼、精神まで	35%
E 全身におよぶ生理的変化・病態・診断・治療	全身におよぶ疾患や病態 感染症、腫瘍、救急、小児、法医学など	28%
F 診療の基本	診察・診断の方法や技術	5%

CBT は
“病気の知識”
だけで
63%

※モデル・コア・カリキュラムの詳細は以下のウェブサイトをご覧下さい。
医学教育モデル・コア・カリキュラム教科内容ガイドライン (平成 22 年度改訂版)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-1/toushin/1304433.htm
※モデル・コア・カリキュラムは平成 28 年版が発表されました。
適用は数年先と考えられるため、『QB CBT 2018』では平成 22 年度版を掲載しています。

医学部 4 年生からのスケジュール

